

2021(令和3年) ハタハタ情報 No.2

令和3年11月4日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2021年10月23日に留萌沖の水深270～320mの2調査点でトロールによる漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。調査計画では例年同様7調査点でのトロールを予定しておりましたが、10月中旬の時化とトロールウインチの不具合により2調査点のみの採集となりました。

- 1歳以上の採集尾数は2015年以降では最も多くなりましたが、調査点数が少ないことに注意。
- 年齢は1歳魚（2020年級）が主体で、体長は12～15cm台と小さめ。
- 水温は過去5年平均と同程度でした。

1. ハタハタの採集状況

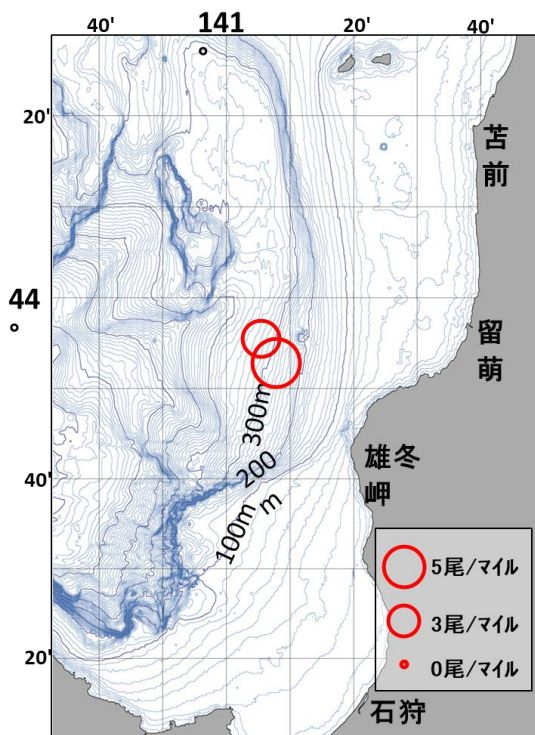


図1 2021年10月のトロール調査による採集尾数（1歳以上）

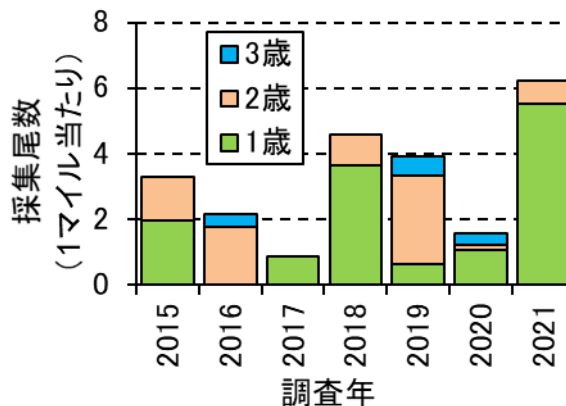


図2 10月トロール調査による1歳以上の採集密度

今回の調査では、留萌沖でトロールを2回曳網し、ハタハタは合計で10尾（1歳以上：9尾，0歳：1尾）採集されました（図1）。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は平均6.2尾となり、2015年以降では最も高い採集密度となりましたが、調査点数が少ないことに注意が必要です。（図2）。

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢（図3）

今回の調査では1歳以上の9尾のうち雌は1尾でした。雌雄混みの年齢組成は1歳（2020年級：2020年生まれ）が最も多く8尾，2歳が1尾，3歳は0尾でした。体長は12～15cm台と小さめでした。

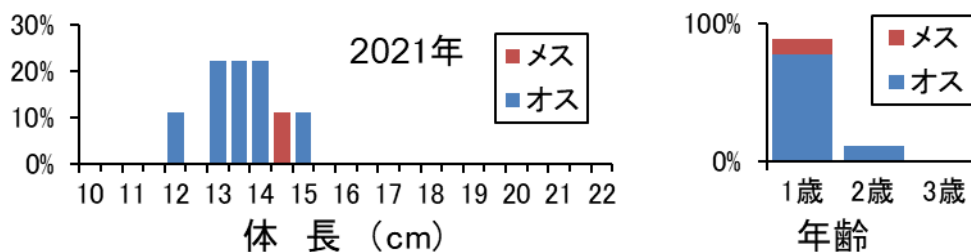


図3 今回の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 成熟状態

ハタハタは成熟（生殖巣の発達）が進むにつれ、南下して沿岸にて産卵することが知られています。今回の調査では雌の採集尾数が少ないため、その成熟度から石狩湾前浜への来遊時期を判断することはできませんでしたが、1歳魚が主体であれば平年並みの11月中旬ころと考えます。

4. 水温（図4）

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）の表層から底層にかけての水温観測結果を，過去5年の平均値と併せて示しました。

今回の調査で観測した水温は，上層付近（深度約40mまで）は過去5年平均よりわずかに低いものの，70m以深は同程度でした。また，水温躍層は過去5年平均より深い70m深に形成されていました。

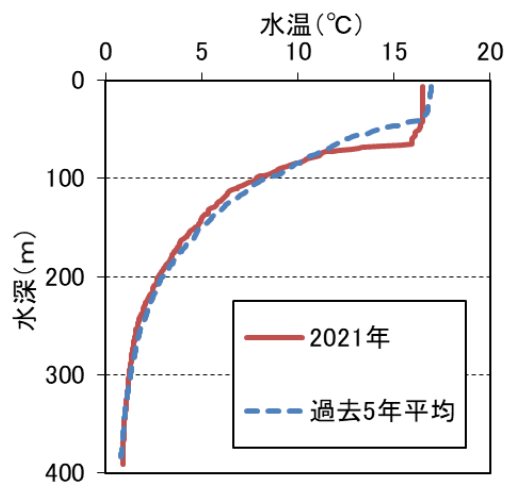


図4 雄冬沖（44° N, 141° E）の10月中旬の水温分布

5. 今後の調査など

今年度の留萌沖での調査船によるトロール調査は終了です。関係漁業者の皆様，調査へのご配慮ありがとうございました。今後は，各漁業による漁獲物の標本採集調査などを実施いたしますので，重ねてご協力をお願いいたします。